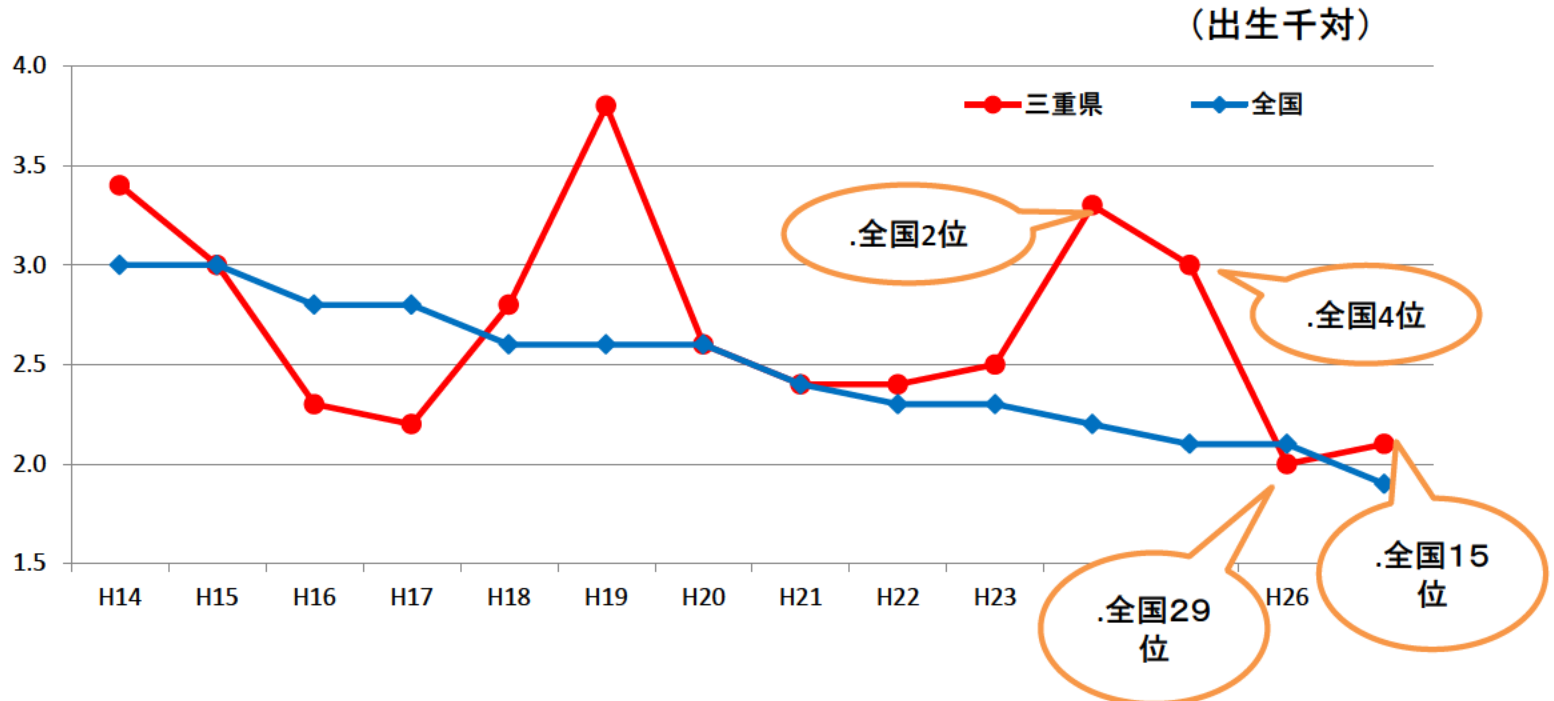


乳幼児死亡の状況 について

H29. 2月

乳児死亡率の推移



年次	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
三重県	3.4	3.0	2.3	2.2	2.8	3.8	2.6	2.4	2.4	2.5	3.3	3.0	2.0	2.1
全国	3.0	3.0	2.8	2.8	2.6	2.6	2.6	2.4	2.3	2.3	2.2	2.1	2.1	1.9

三重県の乳児死亡数の推移

		平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
三重県	乳児死亡数	37	37	37	48	44	27	29
	乳児死亡率(出生千対)	2.4	2.4	2.5	3.3	3.0	2.0	2.1
全国	乳児死亡率(出生千対)	2.4	2.3	2.3	2.2	2.1	2.1	1.9
三重県の全国順位		16位	20位	14位	2位	4位	29位	15位

H26,27は
改善傾向

主な死因別内訳

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
先天奇形, 変形及び染色体異常	9	13	15	16	12	8	7
周産期に特異的な呼吸障害等	4	4	4	6	8	5	6
乳幼児突然死症候群	2	5	0	2	4	0	2
不慮の事故	3	3	5	3	6	0	0
胎児及び新生児の出血性障害等	2	2	2	1	2	1	2
その他	17	10	11	20	12	13	12

死因別乳児死亡率 (H23～27年 5年累積)

	総数 (出生千対)	1位 (出生10万対)	2位 (出生10万対)	3位 (出生10万対)	4位 (出生10万対)	5位 (出生10万対)
乳児死因分類		先天奇形, 変形及び染色体異常	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	乳幼児突然死症候群	不慮の事故	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害
三重県の全国順位	5位(7位)	21位(19位)	5位(10位)	22位(15位)	5位(4位)	9位(9位)
全国値	2.1(2.2)	77.1(80.0)	28.3(29.8)	12.5(13.2)	10.5(11.0)	7.6(7.5)
三重県値	2.6(2.6)	80.6(87.3)	40.3(36.8)	11.1(15.0)	19.4(23.2)	11.1(10.9)

()はH22～26年5年累積値

三重県は「不慮の事故」が3位

不慮の事故死因別乳児死亡率 (H23~27年 5年累積)

	総数 (出生10万対)	1位 (出生10万対)	2位 (出生10万対)	3位 (出生10万対)	4位 (出生10万対)	5位 (出生10万対)
	不慮の事故 総数	その他の不 慮の窒息	胃内容物の 誤えん及び 気道閉塞を 生じた食物 等の誤えん <吸引>	その他の不 慮の事故	不慮の溺死 及び溺水	交通事故
全国順位	5位(4位)	2位(2位)	15位 (7位)	(—)	1位(2位)	(—)
全国値	(11.0)	4.31 (4.26)	3.16 (3.43)	1.93 (1.96)	0.47 (0.50)	0.41 (0.52)
三重県値	(23.2)	12.50 (13.64)	4.17 (6.82)	(—)	2.78 (2.73)	(—)
三重県値 (実数)	14	9	3	0	2	0

()はH22~26年5年累積値

乳児の不慮の事故対策は「窒息」「誤えん」

死因別幼児(1～4歳)死亡率 (H24～27年 4年累積)

	総数 (人口千対)	1位 (人口10万対)	2位 (人口10万対)	3位 (人口10万対)	4位 (人口10万対)	5位 (人口10万対)
死因簡単 分類全国 順位		先天奇形, 変形及び 染色体異常	不慮の事 故	悪性新生 物	心疾患・肺 炎	—
全国値 (H27単年)	19.4	4	2.7	1.7	1.3	
三重県値 (H24～27累積)	20.9	2.4	3.2	2.8	0.4	
三重県 実数 (H24～27累積)	51	6	8	7	1	6

三重県はこのほか「感染症および寄生虫症
が4年間で7名死亡、累積死亡率2.8

幼児死亡の状況

(H24～27年の4年累積値)

死因簡単分類		H24～27 の1～4歳 累積死亡 数	H24～27 三重県累 積死亡率 (人口10万 対)	H27 全国死 亡率(単年) (人口10万 対)	三重 (H24～27 の累積)	全国(H27)
感染症および 寄生虫症	腸管感染症	4	1.6	0.5	2.8	1.7
	敗血症	3	1.2	0.7		
新生物	肝及び肝内胆管の悪性新生物	1	0.4	0.1	2.8	1.7
	悪性リンパ腫	1	0.4	0		
	白血病	1	0.4	0.6		
	中枢神経系の悪性新生物(腫瘍)	1	0.4	0.4		
	その他の悪性新生物(腫瘍)	3	1.2	0.5		
血液及び造血器の 疾患並びに免疫機 構の障害	貧血	1	0.4	—	0.8	0.4
	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障	1	0.4	0.4		
神経系の疾患	その他の神経系の疾患	4	1.6	1.8	1.6	1.9
循環器系の疾 患	不整脈および伝導障害	1	0.4	0.1	1.6	1.4
	脳内出血	2	0.8	—		
	その他の心疾患	1	0.4	0.6		
呼吸器系の疾 患	肺炎	6	2.5	1.3	2.9	2.4
	その他の呼吸器系の疾患	1	0.4	0.8		
消化器系の疾 患	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	1	0.4	0.1	0.4	0.6
腎尿路生殖器 系の疾患	その他の腎尿路生殖器系の疾患	1	0.4	0	0.4	0.1
先天奇形、変 形及び染色体 異常	神経系の先天奇形	1	0.4	0.3	2.4	4
	心臓の先天奇形	4	1.6	1.7		
	その他の先天奇形及び変形	1	0.4	0.5		
乳幼児突然死 症候群	乳幼児突然死症候群	2	0.8	—	0.8	—
傷病及び死亡 の外因	交通事故	3	1.2	0.9	4	3.4
	転倒・転落・墜落	2	0.8	0.3		
	不慮の窒息	3	1.2	0.7		
	その他の外因	2	0.8	0.4		
総計		51	20.9			19.4

気になる
死因
・感染症
・肺炎
・SIDS
・不慮の
事故

幼児(1～4歳)死亡年齢別死亡数の状況 (平成24年～27年4年累積)

死因簡単分類		1歳	2歳	3歳	4歳	総計
感染症および寄生虫症	腸管感染症	1	2		1	4
	敗血症	2			1	3
新生物	肝及び肝内胆管の悪性新生物	1				1
	悪性リンパ腫				1	1
	白血病				1	1
	中枢神経系の悪性新生物(腫瘍)		1			1
	その他の悪性新生物(腫瘍)			2	1	3
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	貧血		1			1
	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1				1
神経系の疾患	その他の神経系の疾患	1	2	1		4
循環器系の疾患	不整脈および伝導障害	1				1
	脳内出血	2				2
	その他の心疾患	1				1
呼吸器系の疾患	肺炎	3	3			6
	その他の呼吸器系の疾患		1			1
消化器系の疾患	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍		1			1
腎尿路生殖器系の疾患	その他の腎尿路生殖器系の疾患				1	1
先天奇形、変形及び染色体異常	神経系の先天奇形		1			1
	心臓の先天奇形	3		1		4
	その他の先天奇形及び変形	1				1
乳幼児突然死症候群	乳幼児突然死症候群	2				2
傷病及び死亡の外因	交通事故	1			2	3
	転倒・転落・墜落				2	2
	不慮の窒息	2	1			3
	その他の外因		1		1	2
	総計	22	14	4	11	51

平成27年度 乳幼児事故予防対策推進事業

○「乳幼児事故予防推進会議」

H27年9月、12月

○「子育て支援に関わる職員の事故予防指導能力向上のための研修会」

平成27年12月20日(日)

対 象: 医師、保健師、保育施設職員、消防職員、
子育てボランティア等

講演: 「小児の気道異物事故への対応と予防」

「乳幼児突然死症候群(SIDS)と乳幼児突発性危急事態ALTE)」

ワークショップ

職種別・多職種連携

○乳幼児事故予防啓発の実施

・保護者への啓発

4か月健診、10か月健診等で自己チェックシートの配布

市町母子保健活動、小児科医療機関等でのリーフレットの配布・掲示

・一般向け啓発

新聞折り込みチラシ等による内容とする。

SIDSの認知度、予防策の認知度の推移

1歳6か月児健診時保護者へのアンケート(H28.10~12)

2,054名回答

乳幼児突然死症候群(SIDS)について知っていますか(%)

微増

有効回答数2,035名

	H22	H26	H27	H28
知っている	88.7	88.3	89.2	90.6
知らない	11.3	11.7	10.8	9.4
計	100.0	100.0	100.0	100.0

2つのキーワードで上昇!

「知っている」と答えたもののうち予防策を知っている割合

	H22	H26	H27	H28
あおむけ寝で育てる	87.7	89.4	80.0	84.4
禁煙する	71.4	60.5	54.6	54.5
できるだけ母乳で育てる	54.8	44.1	38.6	39.5

乳児期にうつぶせ寝をさせている親の割合

1歳6か月児健診時保護者へ
のアンケート(H28.10~12)

有効回答数 1,907
2,054名回答

お子さんが1歳になるまでの寝かせ方についてお聞きします。
*運動のためうつぶせの姿勢にしたり、自然に寝返ってうつぶせになる場合は該当しません。

	H14	H22	H26	H27	H28
うつぶせ寝をしていた	19.8	4.9	4.6	6.5	2.7
時々うつぶせ寝をしていた		18.6	21.9	21.9	21.7
うつぶせ寝はほとんどしなかった	80.2	76.5	73.5	71.6	75.6
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

H28年度
改善!

参考<国の調査>

お子さんを寝かせ始めるときはどのように寝かせていますか。

	H13	H17	H21	H25
うつぶせ寝と答えた人の割合	3.5	2.4	1.3	1.3

*平成25年度厚労科研「健やか親子21」の最終評価・課題分析及び次期国民健康運動の推進に関する研究(山懸然太郎班)

事故防止対策の取組を行っている市町の数

平成22年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
25市町	25市町	27市町	29市町

県内市町の乳幼児事故予防活動

(平成28年12月調べ)

・市町の事故予防活動(29市町で実施)

実施内容	市町数
パンフレットの配布	27
健康教育	15
訪問時に指導	23
その他	5

・その他の内容

名張市	子育て支援員研修、地域の広場で啓発
尾鷲市	事故予防モデルミニハウスの展示
熊野市	乳幼児健診での保健指導
木曾岬町	小児科医による事故予防講演会を実施
大台町	出生届出時に指導

家庭内での事故予防

1歳6か月児健診時保護者へ
のアンケート(H28.10~12)

2,054名回答

幼児の浴槽の転落事故を予防するために何か工夫をしていますか					
	H14	H22	H26	H27	H28
している	72.2	65.1	69.6	72.8	71.1
していない	27.8	34.9	30.4	27.2	28.9
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

年々増加して
いたが、微減

家庭内での事故予防

1歳6か月児健診時保護者への
アンケート(H28.10~12)

1875名回答

工夫をしている人の割合	H22	H26	H27	H28
入浴後はすぐお湯を抜いて浴槽内を空にする	65.3	69.3	66.5	68.1
浴槽の淵の高さを50cm以上にしている	14.1	11.8	12.1	12.7
お湯をはっている間は浴槽に入りにくい丈夫な蓋をしている	20.7	23.7	23.5	21.8
浴槽のドアを子どもが自分であけることができないように工夫している	42.0	38.1	45.1	45.1
その他	8.2	6.7	6.4	6.6

参考<国の調査>

浴槽に水をためたままにしないように注意していますか。

浴室のドアに関しては取り組みが進んでいる

	H13	H17	H21	H25
注意していると答えた人の割合	64.3	69.2	71.5	73.5

乳幼児のいる家庭で、風呂場のドアを乳幼児が自分で開けることができないように工夫した家庭の割合

	H13	H17	H21	H25
工夫していると答えた人の割合	31.3	32.0	36.2	38.2

今後の乳幼児死亡について

- 人口動態統計の観察、評価
 - ・・・健やか親子支援部会で情報共有
- 市町における乳幼児事故予防対策の進捗状況の把握、フィードバック
 - “あおむけ寝で育てる”PR
- 各医療機関で行っていただいている乳児健診での保護者向け啓発の継続
- 早期受診の啓発